

事務事業名	納税しやすい環境づくり事業		所属部局	総務部	単位番号	2010- 3125				
	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	収税対策課	課長名	内藤 和也				
			所属担当	管理担当	担当者名	今澤 静子				
基本政策	I	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 02	項 02	目 02	細目 020	細々目 13
政策	01	行財政改革の推進	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	01	財政の健全化の推進								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 22 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		法令根拠	地方自治法、南アルプス市財務規則						
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 地方自治法、南アルプス市財務規則 納付書で現金納付される納付者がコンビニエンスストアで気軽に納付できるようにとH22年度より始まっている事業である。夜間・休日でも納付できることや収納結果が翌日にはデータが反映されるという利点がある。			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 印刷製本費 166 委託料 5,055 計 5,221						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容: コンビニ納付による収納業務 27年度活動予定: コンビニ納付による収納業務	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア コンビニ納付件数 件数 イ ウ
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	納税義務者	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア コンビニ納付件数 件数 イ ウ
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	納税者が納付しやすい環境を整備する。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア コンビニ納付を利用した割合 % イ ウ
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	高齢者が市役所、銀行に出向くことなく納付が可能になり、休日や夜間も利用できることから収納率(徴収率)の向上が見込まれる。	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 収納率(徴収率) % イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
			千円							
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	2,640	1	1	1	1	1	
		一般財源	千円	1,131	4,095	5,220	5,210	5,210	5,210	
		事業費計(A)	千円	3,771	4,096	5,221	5,211	5,211	5,211	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	260	260	260	260	260	260	
		人件費計(B)	千円	1,183	1,183	1,183	1,183	1,183	1,183	0
		(A)+(B)	千円	4,954	5,279	6,404	6,394	6,394	6,394	0
		活動指標	アイウ	48,606.0	54,538.0	55,075.0	70,000.0	70,000.0	70,000.0	
		対象指標	アイウ	48,606.0	54,538.0	55,075.0	70,000.0	70,000.0	70,000.0	
		成果指標	アイウ	19.5	20.8	23.1	20.8	20.8	20.8	
		上位成果指標	アイ	91.6	94.0	94.0	94.0	94.0	94.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成17年度頃より山梨中央銀行(株)からの働きかけもあり、その後議会での質問もあり、県内市町村の実施に向けての活動が徐々に活発化してきた。こんななか本市でも平成22年度より実施した。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	より便利に、手間なく、時間に拘束されることがなく納付できる方法が望まれてきている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	議会等からコンビニ納付での経費について質問があった。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成22年度から4税(固定・市県民・軽自・国保)がコンビニで納税できるようになり、納税者からは便利になったという声も多く寄せられている。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	納付書のバーコードが読み取れないという苦情もあったので、納付書発行時に、印字された納付書を必ず再確認することを、各担当に周知した。

事務事業名	納税しやすい環境づくり事業	所属部	総務部	所属課	収税対策課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 コンビニでの納付は、納税者にとって利便性の向上であるサービスの向上でもある。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 収納業務は、自治体業務である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 金融機関等で納付する場合は、時間等に制限があるが、コンビニでの納付は休日や夜間等でも納付が可能であることとコンビニの店舗数もここ数年かなり増えているので、事業の維持・継続は妥当である。また、収納結果も翌日に電算システムに反映されるという利点もある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 他の振替方法と比較すると手数料は高いが、納税者の利便性から考えるとコンビニ収納は周知は行っていかなければならない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 納税者の利便性の向上及び収納率の向上を目指す目的に逆行する。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 納税者の利便性の向上及び収納率の向上を目指す目的に逆行する。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 納税者の利便性の向上及び収納率の向上を目指す目的に逆行する。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 エラー等がなければ、作業自体は短期間で終わるため。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 納付書納付している全ての納税者が利用可能である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	H22から実施しているこの事業の利用者数は、順調に伸びている。口圧振替の手数料と比べると割高であるが、期限内に支払う納税者に対して、支払いの場を増やすことも重要である。バーコード印刷が鮮明でないことや汚れによる読み取りができない場合があるので注意が必要。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 納税者の更なる利便性と収納率の向上を目指す。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 クレジット収納の検討	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑨</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑥	コスト削減優先度評価結果	⑨																	
成果優先度評価結果	⑥																					
コスト削減優先度評価結果	⑨																					